

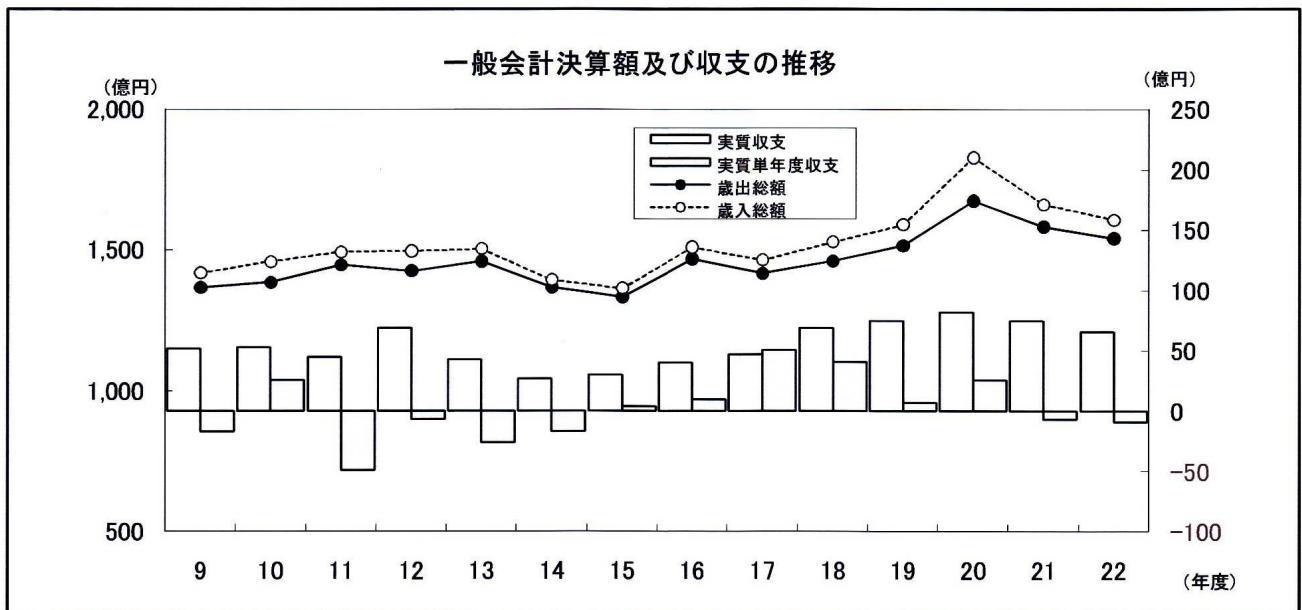
葛飾区 一般会計決算収支の状況

一般会計決算の歳入・歳出決算については9年度以降、歳入総額は、1,360億円から1,820億円台、歳出総額は、1,330億円から1,670億円台の規模で推移しています。

22年度の歳入総額は、国庫支出金や都支出金が増であったものの、特別区民税や繰入金、21年度からの繰越金が大幅な減となったため、対前年度55億円の減になるとともに、歳出総額においても、子ども手当や生活保護費等の扶助費が増となったものの、中央図書館取得終了による投資的経費や定額給付金の終了による補助費等の大幅な減などにより、対前年度41億円の減となっています。

また、歳入総額と歳出総額の差である形式収支やそこから翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、9年度以降、20億円から80億円台の黒字（プラス）で推移しています。実質収支から前年度の純繰越金（前年度実質収支）や年度間の財源を調整する財政調整基金の積立・取崩を除いた実質単年度収支は、9年度以降14年度までは、10年度を除き赤字となっていました。15年度以降は6年連続して黒字となっていました。

22年度決算収支においては、実質収支は66億円の黒字となったものの、当初見込んでいた以上に、特別区民税の落ち込みや繰越金、繰入金が減となったことなどから、実質単年度収支は引き続き9億円の赤字になりました。



	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
歳入総額	142,049	146,001	149,353	149,695	150,539	139,548	136,498	151,077	146,586	153,031	159,178	182,865	166,434	160,916
歳出総額	136,842	138,693	144,815	142,748	146,146	136,892	133,456	147,041	141,910	146,169	151,658	167,644	158,421	154,289
形式収支	5,207	7,308	4,537	6,947	4,393	2,656	3,042	4,036	4,676	6,862	7,520	15,221	8,013	6,627
繰越財源	0	2,031	37	13	48	0	0	0	0	0	2	7,052	518	27
実質収支	5,207	5,277	4,500	6,934	4,345	2,656	3,042	4,036	4,676	6,862	7,518	8,169	7,495	6,600
実質単年度収支	-1,694	2,604	-4,941	-727	-2,587	-1,689	386	994	5,120	4,133	678	2,576	-654	-887

(実質単年度収支)

実質収支－前年度実質収支＋財政調整基金積立額＋地方債繰上償還額－財政調整基金取崩額

区財政の現状（平成22年度決算）より